

プレスリリース（2011年7月8日）

DKSH、ラグジュアリー&ライフスタイル事業を強化

2011年7月4日 -- アジアを中心にマーケットエクспанションサービスを提供するリーディングカンパニーの DKSH がスイスの腕時計メーカー、モーリス・ラクロアの過半数株式を取得しました。またアジアでの事業拡大のためにジーノ・ダビドフと合併会社を設立しました。

2011年7月4日スイス、チューリッヒ発 -- DKSH は、ラグジュアリー&ライフスタイル部門の戦略的成長路線を引き続き重視し、活動しています。2010年2月にラグジュアリー&ライフスタイル製品の販売流通において長年の歴史を誇るスイス企業、ヘグマイヤー・コサ・リーベルマン（Hagemeyer-Cosa Liebermann）を買収したのについて、今回2件の大規模投資を行い、ラグジュアリー事業をさらに強化しました。

まず、モーリス・ラクロア（Maurice Lacroix）の過半数株式を取得しました。モーリス・ラクロアは、チューリッヒとセイネレジェに拠点を置く、従業員数200人、年商7,000万スイスフランの有名腕時計メーカーで、DKSH はすでに2008年にアジアでの同社製品の独占販売権を獲得しています。次に DKSH は、アジアにおける高級腕時計、皮革製品、アクセサリーの販売とマーケティングを目的に、ジーノ・ダビドフ AG（Zino Davidoff AG）と合併会社を設立しました。この2件の投資の結果、DKSH の製品構成にこれら2つの高級ブランドが加わり、製品ラインはさらに充実しました。

アジアでの市場拡大と急速に台頭しつつある中流階級の需要を最適な方法で満たすことに的を絞った今回の戦略的提携の基盤となっているのは、ジーノ・ダビドフ AG によるモーリス・ラクロアへの資本参加です。

第3の株主としてモーリス・ラクロアに残ることになったデスコ・フォン・シュルテス（Descos von Schulthess）も、ジーノ・ダビドフ AG と同様にモーリス・ラクロア・ホールディングの取締役会に参加しています。この投資に関してデスコ・フォン・シュルテスのピーター・ブルナー（Peter Brunner）社長は次のように述べています。「DKSH による、モーリス・ラクロアの過半数株式および経営権と戦略的ポジションの獲得は、私が周到に計画した長期的かつ論理的な後継戦略の一環です。この戦略は、DKSH による2008年の Descos のアジア事業部門の買収と DKSH のモーリス・ラクロアに対する資本参加によって始まりました」。

この新たな資本構成によって、モーリス・ラクロアは将来に向けた展望を開くことができます。同社のマーティン・バッハマン（Martin Bachmann）CEO は次のように述べています。「この新提携によって、アジアでの市場拡大をこれまで以上に推進できるだけでなく、成功を収めてきた我々のブランド戦略の枠組みの中で、グローバルかつ継続的な事業拡大に向けたさらなる成長と相乗効果発揮の機会を手中に収めることができます」。

ジーノ・ダビドフ AG ラグジュアリー・グループのクリスチアン・シャフナー（Christian Schaffner）CEO は次のように述べています。「DKSH は、急成長中のアジア市場でダビドフ・ブランドのラグジュアリーグッズを効果的にマーケティングするための理想的なパートナーだと考えています。豊かな伝統とアジア市場に関する深い知識と経験を持つ DKSH は、当社製品のための優れたポジショニングだけでなく、デザインに関して

も刺激を与えてくれるものと期待しています」。

これらの事業拡大措置によって、DKSH はアジアにおける高級ラグジュアリーグッズのマーケティング、販売、流通サービスの独立プロバイダーとしての主導的地位をさらに強化していきます。またモーリス・ラクロアの経営権の獲得によって、特定の事業分野における自社ブランドの成長戦略を着実に推進していきます。

DKSH のヨルグ・ヴォレ CEO は次のように述べています。「アジアにおける大規模なマーケティング、セールス、アフターサービス・ネットワークとモーリス・ラクロアの製造、設計、デザイン能力を戦略的に連携し、それをさらにダビドフのブランド・マネジメントのノウハウと組み合わせることによって、巨大な成長可能性と相乗効果をもたらされるものと期待しています。アジア地域全体で急速に台頭しつつある中流階級が、モーリス・ラクロアやジーノ・ダビドフが提供する高級ラグジュアリー&ライフスタイル製品の最高の顧客になるでしょう」。

なお、本株式売買の詳細情報に関して、上記 3 社は公開しないことで合意しています。

DKSH グループについて

DKSH は、アジアを中心としたマーケットエクспанションサービスの大手プロバイダーです。この「マーケットエクспанションサービス」によって、DKSH は顧客企業やブランドの新市場あるいは既存市場におけるビジネス拡大を支援します。世界 35 カ国に 610 のビジネス拠点を有し、2 万 2,500 人以上の専門知識を備えた社員を擁しています。売上高及び従業員数でスイス企業のトップ 20 にランクされています。2010 年度のグループ総取扱高は約 9,000 億円（100 億スイスフラン）となりました。

DKSH グループは、消費財事業部門、ヘルスケア事業部門、生産資材事業部門、テクノロジー事業部門の 4 部門を展開しています。調達、マーケティング、販売、流通、アフターサービスを組み合わせた包括的パッケージサービスを提供します。ビジネス・パートナーの皆様には専門知識のほか、比類なき規模と深さを誇る幅広いネットワークを活かした現地の流通サービスを提供します。

DKSH はスイス・チューリッヒに本社を置いています。アジア・太平洋の各国に深く根付いています。これは、過去 150 年にわたって同地域でビジネスを行い、地元と共に発展した歴史に支えられています。

モーリス・ラクロアについて

モーリス・ラクロアは 1975 年に最初の時計を発売して以来、人気のある時計製造ブランドへと成長しました。2006 年末には複雑なムーブメント部品を生産する工房を構え、高級スイス製腕時計メーカーの仲間入りをしました。その後も技術とデザインの両面でイノベーションを推進し、数多くの特許を取得するとともに、多数の商品を発表しています。モーリス・ラクロアは数少ない独立系時計メーカーの一つで、チューリッヒの国際本部およびスイスのセイネレジェとモンフォコンにある工房を中心に、世界で 200 人以上を雇用しています。

モーリス・ラクロアに関する詳細は www.mauricelacroix.com または <http://www.facebook.com/mauricelacroixJP> をご参照下さい。

ジーノ・ダビドフ・ラグジュアリー・グループについて

ジーノ・ダビドフ・ラグジュアリー・グループは、洗練された顧客層のために高級時計、筆記具、皮革小物を生産するスイスの同族企業です。フレグランス、アイウェア、コニャック、カフェなど、自社で手がけていない製品分野においてダビドフ・ブランドのライセンス供与を行っています。ダビドフは、世界最良の素材や成分を使用することをモットーとしています。デザインはもちろん、インスピレーションやクラフトマンシップに至るまで、究極の品質と信頼性の提供を目標にしています。それが完璧さを追求するダビドフの哲学です。

ジーノ・ダビドフの伝統

製品やサービスに冠されるダビドフというブランド名は、創業者であるジーノ・ダビドフが信奉した最高の品質、スタイル、正統性、前向きなライフスタイルを語る証です。教養豊かで洗練され、度量の広い紳士であったジーノ・ダビドフ（1906～1994年）は、先見性のあるビジネスマンでもありました。旅行を愛し、常にインスピレーションとより優れた品質を求めて世界中を巡りました。ジーノ・ダビドフは「幸せな生活」を創り出すベテランであり、人生が与えてくれるシンプルな喜びを、友と分かち合いながら楽しみました。彼の専門知識や粘り強さ、優れた直感やユニークなパーソナリティとともに、今では伝説として語り継がれています。

今日、ダビドフは、本物の高級品ブランドとして世界的に高い評価を集めています。優れた品質と正統性によって、ダビドフは国際的なラグジュアリーグッズの代名詞となっています。

ジーノ・ダビドフに関する詳細は www.zinodavidoff.com をご参照下さい。

本件に関するお問合せ：

DKSH ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーション担当

長谷川 崇

〒108-8360

東京都港区三田 3-4-19

Phone 03-5730-7342 Fax 03-5730-7333

www.dksh.jp